

きりしま支部 第26回定時総会 採択議案

第1号議案 2024年度(第25期)の振り返り

はじめに

2024年度は、中小企業にとって変化の多い一年になりました。物価上昇や人手不足といった課題が続く中、中小企業の生産性向上や賃上げの動きが注目されました。政府の支援策もあり、デジタル化や業務効率化に取り組む企業が増えたことは、今後の成長に向けた前向きな変化といえます。働き方改革や人材確保の面では、社員が安心して働ける環境づくりが今後の成長のカギになると考えられます。持続可能な会社づくりに何が必要であるのかを今一度、立ち止まり、再考した1年になりました。

きりしま支部では、こんな時代だからこそ、同友会理念の三つの目的「よい会社をつくろう」「よい経営者になろう」「よい経営環境をつくろう」を合言葉に、自主・民主・連帯の精神をもって、地域と共に歩む中小企業家として、地域経済を守っていかねばならないという思いで活動してきました。

青年経営者全国交流会in宮崎の成功へ向けてたちあげた「ファイト200(増強会議)」では16回の会合を重ね、25名の入会へとつながり、過去最高会勢の165名会員という成果を産み出しました。

1. 互いの経営体験の交流の場の充実

同友会の学びの本質である、「経営体験の交流」を中心に活動を展開

6つのテーマで取り組んだ部会活動と一人ひとりが主役の「例会」

「経営指針」「共育ち」「魅力発信」「地域づくり」「事業づくり」「条例づくり」の6つの部会で部会テーマに沿った例会を年1回担当し、企画と運営を行ないました。そのうち3つの部会では、「青年経営者全国交流会」の分科会のプレ報告会を兼ねて例会づくりを行い、全国の学びを先取りできる例会となりました。例会づくりの他、テーマを深める学習会を開催した部会もありました。

それぞれの部会内での連携は、まとまりつつありますが、もう少し会員が主人公として活動できる体制をつくらなければなりません。そのためにも、まず、会員一人ひとりの現状課題や想いを知りあうこと。ここに注力することで、互いの学びも大きくなり、主体的な楽しい同友会づくりへつなげていけると考えます。

今年度は、「青年経営者全国交流会」が開催されたことで、7回の例会・プレ報告会づくりと、各部会活動を深め、多くの学びになりました。例会においては、リアル参加を基本としていましたが、飲食店など夜に出会することが難しい経営者の声に応え、ハイブリット形式の例会も2回開催しました。

例会をつくる過程では、部会テーマに沿った経営実践の交流を深め、お互いの経営を高めあう機会となりました。座長・室長・報告者を選任し、数回のミニ報告会を重ね、グループ長の意見を入れながら、討論テーマを決めるなど、グループ内交流を通して、目標・計画・集客というプロセスも学ぶことができました。例会後は、振り返りによりPDCAを回し、次の例会へ活かすことができました。

しかしながら、会員の例会参加率は29.5%と20年ぶりに30%を切りました。来期は会員の課題に沿った例会づくりをさらに深化させる必要があります。

○例会開催 年6回+1回

支部会員参加率 29.5% ゲスト 延80名

□事業づくり

6月例会では、「同友会での学びと実践で見えた自社の事業づくり」をテーマに、地域のために何ができるかを学び合いました。学びを実践したり、チャレンジしたりしていることを討論では考え合いました。

□共育ち部会

青年経営者全国交流会の記念講演のプレ報告を兼ねて「勝てる事業づくりで地方から全国へ！」のテーマで開催し、同友会の学びを生かした経営の実践を学び合いました。きりしま支部会員から全国行事の記念講演の講師を送り出すことができ、仲間の大きさに感銘を受けました。

□魅力発信部会

青全交の10分科会プレ報告を兼ねて「社員・志を共にする同業者と進む一歩」のテーマで8月例会を開催しました。苦境に立たされている業界が多い中、「業界を変えてやる！」と覚悟を決めて社員さんと共に立ち向かわれている姿に学び合いました。徳島同友会から報告者にきていただいたことで、刺激をもらうこともできました。

□経営指針部会

11月例会では、第2回(2023年度)経営理念をつくる会の卒業生が、つくる会での体験を報告し、理念の大切さを学び合いました。ゲスト参加者が「つくる会に参加したいから入会したい」と決意する

など、会員増強にもつながりました。

□地域づくり部会

1月例会では、これからの活動について、会員はじめ市役所や商工会議所の方々も参加していただき、夢見る課外授業や創業塾の意義について理解を深める例会になりました。来期に向けては、更に講師やサポートに関わる部会メンバーを増やしていきたいと考えています。

□条例づくり部会

条例部会活動を通して、都城市中小企業・小規模事業振興基本条例に関わる機会が増えましたが、会員へと広がりをつくるできませんでした。3月例会では、景況調査とその分析をベースにした新しい形の例会づくりに取り組み、地域の課題と自社の課題について学び合いました。

2. 経営課題に照らした部会活動の展開

(1) 経営指針の成文化と実践の推進

経営指針部会を中心に県の委員会と連携して、第3回目となる「経営理念をつくる会」を開催しました。きりしま支部では、県の委員会と連携を図り、経営指針の要素の一つである「経営理念」の支部内での成文化率を増やす方針です。第3期生は7名の参加があり、全員が経営理念をつくることができました。この卒業生は、県の「経営理念をつくる会（方針・計画編）」に参加をし、指針経営の実践に取り組んでいきます。

この理念をつくる会では、受講生、サポーターのそれぞれの経営理念（想い）にふれる機会になり、互いに応援する仲間づくりにつながっています。また、サポーターは、自社を見つめ直し、学び直しの良い機会となりました。来期は、受講生が、サポーターとなっていくなど、循環型組織になっていきます。

(2) 地域に若者を残す活動の推進

三者協定（都城市、都城商工会議所、同友会）の中で、夢見る課外授業を開催し、中学生や高校生へ地域で活躍する経営者の熱い思いを話す機会が増えました。地元にも、こんな企業があるんだ、楽しい企業があるんだということを知ってもらえる機会になっています。経営者自身も、自社を振り返るいい機会になり、「自社の存在意義」を改めて考え、地域になくてはならない企業にしていこうと決意新たにしている経営者もいました。

(3) 中小企業の魅力を伝える発信力強化への取組み

「ファイト200」の活動としてきりしま支部のInstagramを立ち上げるなど、支部活動を魅力的に発信できました。ただ、方針に掲げていた会員企業の情報（会員マップ）については、来期の活動にしっかりと組み込んでいく必要があります。

(4) 他団体との連携強化による魅力ある地域づくり

地域づくりが中心になり、三者協定会議の連携で、中高生へ講話する「夢見る課外授業」や起業家や企業予定者向けの「創業塾」のサポートを行い、地域を活性化すると共に、自社の経営に生かせる場づくりができました。

*三者協定とは、都城市・都城商工会議所・宮崎同友会の三者が「活力ある地域づくり」に取り組むために交わしている協定です。

(5) 中小企業が元気に活躍するまちづくり

きりしま支部が10年をかけ、取り組みを進めてきた「都城市中小企業・小規模企業振興基本条例」が2024年4月に制定されました。6月からは都城市を中心に、推進協議会の準備がすすめられ、2月に「都城市中小企業等振興協議会」が発足しました。地域を支える中小企業、行政、金融機関、学校、同友会メンバーも条例部会を中心に、関わっていきます。景況調査では高い回答率を維持し、調査の精度が上がってきました。地域での課題、自社の課題を考える例会も有意義なものになり、自社に落とし込み、経営に生かすことができました。

(6) 地域の期待に応えられる事業づくり

事業づくり部会では、外部環境が変化していく中、法律の改定や働き方改革、事業承継に対する備えなどを学ぶ学習会を開催しました。社員の離職率を下げるためにも、柔軟な働き方の必要性を感じる学習会となりました。

3. 全国や県内活動への学びの視野を広げる

(1) 第52回青年経営者全国交流会in宮崎の成功と学び

9月に「第52回青年経営者全国交流会in宮崎」が開催されました。きりしま支部からも81名が参加し、全国の1900名の仲間と共に学びあいました。

また、青全交の開催にあたり、きりしま支部から、記念講演講師と4名の分科会室長を輩出することができ、立派にやり遂げることができました。

(2) 県行事、全国行事へ積極的に参加していこう

2025年2月に開催された第33回みやざき中小企業経営フォーラムでは、報告者をきりしま支部から送り出すことができました。しかしながら、参加目標76名に対し、77.6%しか達成できなかったことは、反省すべき点です。なぜできなかったかを今一度考え、次回へつなげていく必要があります。

4. 組織率を高め、200名会員のきりしま支部へ

支部幹事・理事と有志で組織し、定期的に「ファイト200会議」を行い、進捗の確認をしました。また、新入会員オリエンテーションを3回開催し、会員同士の交流

を深めることができました。6つの部会で、毎月1名以上の会員訪問を行い、交流を図る計画を立てましたが、実行することができませんでした。ファイト200会議での交流はでき、例会の動員や青年経営者全国交流会、フォーラム動員を行ってきました。同時に、ゲスト参加の呼びかけや声掛けリストなどの作成を行うなど、メンバーに自主性が芽生え、会員数も165名と過去最高の会員数になり、この間の目標である会員200名の支部がみえてきました。

5. きりしま支部の10年後のビジョンを描く

今期活動に揚げていた「きりしま支部のビジョンを描く」という取り組みには、本年度も至りませんでした。しかし、5年後を描くということに向けては、「都城市中小企業・小規模企業振興基本条例」の制定と同時に、協議会への参加を行い、都城市と共に、ビジョンを描いていき、私たちの同友会の10年ビジョンを描いていきます。

2024年度（第25期）活動の記録

1. 支部会員数の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
月初会員数	155	153	154	153	156	158
入会数	(1)	1	1	6	2	3
退会数	3	0	2	3	0	0

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	161	161	162	168	167	168	
	1	1	7	0	1	0	24
	1	0	1	1	0	3	14

※ 4月に宮崎北支部からきりしま支部に移動

* 3月末会員数165名

2. 例会等の開催

第25回定時総会

5月16日(木) グリーンホテル 59名

内訳：会員52名34.2% + 来賓4名 + ゲスト2名 + 他支部1名

6月例会

6月28日(金) グランドパティオ都城 72名

「同友会での学びを生かすポイントは、自分をさらけ出すこと～輝く企業・地域づくりのための経営姿勢の確立～」

スナック翡翠・ブリリアント翡翠

代表 中村麻里氏

内訳：支部49名(31.6%) + 他支部2名 + ゲスト21名

7月例会（青全交記念講演プレ報告）

7月22日(月) グランドパティオ都城 91名

「勝てる事業づくりで地方から全国へ！～同友会の学びを活かした経営実践～」

日本情報クリエイティブ(株) 代表取締役会長 米津健一氏
内訳：支部69名(43.7%) + 他支部5名 + ゲスト17名

8月例会（青全交第10分科会プレ報告）

8月7日(水) 都城グリーンホテル 46名

「社員・志を共にする同業者と進む新たな一歩
～売るのはガスではなく、業界の価値～」

鳴門ガス(株) 代表取締役専務 中岸真史氏(徳島)
内訳：支部41名(26.3%) + 他支部3名 + ゲスト1名 + 他県1名

11月例会

11月25日(月) ウエルネス交流プラザ 84名

「私の道は、わたしが拓く～変革の第一歩は経営理念づくりから～」

ルキア(同) LAMP of hair 代表社員 今別府真希氏
上原林業(株) 代表取締役 上原洋一氏
延時ファーム 代表 延時暁寿氏
内訳：支部63名(37.0%) + 他支部3名 + ゲスト18名

1月例会

22日(水) ウエルネス交流プラザ 89名

「地域づくりは企業づくりと不離一体～創業塾や夢見る課外授業に関わることで変化が生まれた～」

(株)パピネス 代表取締役社長 丸山将史氏
(同)花菜 代表 村山美佳氏

(株)ハラケアシシステム 代表取締役 原秀直氏

内訳：支部61名(37.0%) + ゲスト23名 + 他支部5名

3月例会

25日(火) ホテル中山荘 59名

「景況調査で分かる地域の課題とは？～経営環境に目を向け、自社を伸ばすヒントを掴もう！～」

京都橘大学 経済学部経済学科 准教授 小山大介氏
内訳：支部会員49名(29.6%) + 他支部5名 + ゲスト5名 +

3. 例会外の活動

■第3期経営指針を作る会■

第1講 1月18日(土) 未来創造ステーション

「経営指針って何？経営理念をつくるということ」

人が育つ会社づくり推進協議会 座長 杉村隆寿氏
(株)フィットピア 代表取締役

「労使見解に学ぶ～経営姿勢の確立～」

特定非営利活動法人笑福会 理事長 竹内和広氏
22名(7名 + サポーター 15名)

第2講 2月8日(土) 未来創造ステーション

「人が育つ会社の基盤づくり」

社会保険労務士法人ALX 代表 井手真弓氏
第3講 3月8日(土)～9日(日) 未来創造ステーション
「経営理念の作成」

(21名(7名+サポーター12名))

■部会活動■

1月31日(金) 事業づくり拡大部会(24名)
「取り巻く環境の変化に対応する強い企業になるため
に」

社会保険労務士ひがし事務所 代表 東信一郎氏
司法書士森永優人事務所 代表 森永優人氏
都城市コミュニティセンター

■企業変革支援プログラムVer.2学習会■

1月9日(木) 14名 未来創造ステーション
講師 経営指針委員会 委員長 東郷浩二氏
(宮崎北支部)

■都城市起業家支援三者会議・創業塾■

○三者協定会議

5月13日(月) 4名出席 都城商工会議所
6月18日(火) 3名出席 都城商工会議所
8月2日(金) 3名出席 都城商工会議所
11月6日(水) 2名出席 都城商工会議所
1月24日(金) 6名出席 都城商工会議所
2月20日(木) 4名出席 都城商工会議所
3月19日(水) 3名出席 都城商工会議所

○創業塾

第1講「地域に応援される起業をしよう」
講義とグループワーク
サポーターとして11名参加 都城商工会議所
11月16日(土)
第6講「ビジネスプランを確かなものに」
サポーターとして10名参加 都城商工会議所
11月30日(土)
第7講「ビジネスプラン発表会」
サポーターとして10名参加 都城商工会議所

■夢見る課外授業■

○中郷中学校 7月5日(金) 講師4名+同行1名
○泉ヶ丘高校定時制 7月10日(水) 講師8名+同行3名
○夏尾中学校 12月3日(火) 講師2名+同行4名
○山之口中学校 12月16日(月) 講師4名+同行2名

■都城西高校との職業講話(都城商工会議所と共催)■

11月13日(水) 会員企業10社が講話

■条例制定及び推進の動き■

【都城市】
11月11日(月) 6名出席 未来創造ステーション

都城市中小企業振興基本条例会議

1月10日(金) 5名出席 都城市役所
基本条例に基づく振興会議の設置について
2月18日(火) 5名出席 都城市中央公民館
第1回都城市中小企業等振興協議会

【三股町】

1月28日(火) 4名出席 三股町役場第1会議室
第1回三股町中小企業振興基本条例検討委員会
3月27日(木) 4名出席 三股町役場第1会議室
第2回三股町中小企業振興基本条例検討委員会

4. 仲間づくりの活動

■新会員オリエンテーション等■

第1回同友会を知り合う会
10月9日(水) 味処おいし家
「同友会ってどうゆうかい?」31名
代表幹事 原秀直氏(㈱ハラケアシステム 社長)
代表幹事 田中賢一氏(㈱都城印刷 社長)
「私と同友会」
幹事 森健太郎氏(㈲ファミリーガス 専務)
(31名(新会員13名+ゲスト4名+会員14名))
第2回同友会を知り合う会(28名)&望年会(45名27.3%)
12月17日(火) Salute
「同友会ってどうゆうかい?」
代表幹事 田中賢一氏(㈱都城印刷 社長)
代表幹事 原秀直氏(㈱ハラケアシステム 社長)
「私と同友会」 幹事 東淑恵氏(㈱文昌堂 社長)
第3回同友会を知り合う会 11名 おいし家
2月28日(金)
「同友会の歴史と理念」 青年部幹事 別府昭人氏
(㈲別府損害保険事務所専務)
「同友会の活動」
代表幹事 高濱優子氏(優企画㈱ 社長)
「私と同友会」
代表幹事 田中賢一氏(㈱都城印刷 社長)

■ファイト200■

第1回 4月24日(水) 7名 おいし家
第2回 5月1日(水) 8名 おいし家
第3回 5月15日(水) 6名 おいし家
第4回 5月22日(水) 7名 おいし家
第5回 5月29日(水) 5名 おいし家
第6回 6月4日(水) 6名 おいし家
第7回 7月3日(水) 4名+LINE 1名 おいし家
第8回 7月17日(水) 5名 おいし家
第9回 7月31日(水) 9名 おいし家
第10回 8月21日(水) 5名 おいし家
第11回 9月4日(水) 4名 おいし家
第12回 9月11日(水) 3名 おいし家
第13回 9月25日(水) 3名 おいし家

- 第14回 11月21日(木) 7名 おいし家
 第15回 1月16日(木) 5名 おいし家
 第16回 3月11日(火) 5名 おいし家

4. 幹事会の記録

- 第1回 5月16日(木) グリーンホテル
 出席：17名77.3%
- 第2回 6月5日(木) 未来創造ステーション
 出席：19名 (16名72.7%+理事3名)
- 第3回 7月18日(木) 未来創造ステーション
 出席：13名59.1%
- 第4回 8月8日(木) 地震のため中止
- 第5回 9月5日(木) 未来創造ステーション
 出席：12名 (13名59.1%+フォーラム副実行委員長1名)
- 第6回 10月3日(木) 未来創造ステーション
 出席：16名 (13名59.1%+理事1名+フォーラム副実行委員長1名)
- 第7回 11月7日(木) 未来創造ステーション
 出席：15名 (13名59.1%+理事1名+フォーラム副実行委員長1名)
- 第8回 12月5日(木) 未来創造ステーション
 出席：18名 (16名72.7%+理事1名+フォーラム副実行委員長1名)
- 第9回 1月9日(木) 未来創造ステーション
 出席：16名 (16名63.6%+理事1名+フォーラム副実行委員長1名)
- 第10回 2月12日(木) 未来創造ステーション
 出席：14名 (12名54.5%+理事1名+フォーラム副実行委員長1名)
- 第11回 3月6日(木) 未来創造ステーション
 出席：14名 (12名54.5%+理事1名+次期幹事予定2名)
- 第12回 4月14日(月) 未来創造ステーション
 出席：16名 (14名54.5%+次期幹事予定2名)

第2号議案

2025年度(第26期)の活動方針

活動スローガン

「企業づくり・地域づくり・同友会づくり」の
 三位一体活動で持続可能な地域をつくろう!!

2025年度を迎えるにあたり、目下の中小企業を取り巻く状況を見ますと、物価高や人手不足といった数多くの課題に直面しています。業績の改善が伴わない中、人手を確保するための賃上げを迫られていると言われるように、依然として厳しい経営環境が続いています。

しかし、このような経営環境だからこそ、我々中小企業経営者は、自社の果たす役割を考え、10年ビジョンを描き、それに基づく経営方針・計画を立て、そのPDCAを回す実践を行い、自社と地域の発展に結び付けていかなければなりません。同友会に集う経営者は、「労使見解」の考えを基に、自社の商品やサービスの付加価値を高める努力をすることはもちろん、地域に必要とされる存在であるためにも、地域との関わりをこれまで以上に考えていく必要があります。

都城市では、2024年4月1日「中小企業・小規模企業振興基本条例」が制定されました。今期はその条例に基づいた活動がいよいよ始まります。三股町においても条例制定に向け動き始めました。都城市、三股町ともに、同友会に寄せられる期待は非常に大きいものがあります。

今期は、きりしま支部では、これまで活動の柱としてきた「企業づくり」「地域づくり」「同友会づくり」をより進化させるとともに、その3つの柱を三位一体ととらえ、持続可能な地域づくりに邁進してまいります。

1. 「例会」の参加率向上を目指した改革

昨期は、新型コロナの5類移行を受け、顔を合わせてのリアル例会を年6回行いました。

きりしま支部らしい盛り上がりを見せたかには見えませんが、支部会員の例会参加率が30%を切るという残念な結果に終わりました。支部会員数が増えたことも影響しているとは思いますが、「会員皆が参加したくなる例会」となるための改革は続けていかなければなりません。

業種や家庭の事情で夕方からの例会への参加が難しい会員から、「昼間に例会があれば参加できるのに…」という声が上がってきていたことから、今期きりしま支部では、「昼間例会」を開催いたします。幹事会主催での開催を予定しています。

また、今期もこれまでと同様、6つの部会それぞれが部会テーマに沿った内容で年1回ずつ例会づくりを担当します。3ヶ月かけて準備する例会づくりは、その時間を

通しての学びが多くあります。今期はより多くの会員を例会づくりに巻き込み、例会づくりを通しての学びの場も広がります。又、例会や例会づくりでの学びを各企業で実践し、成果を持ち寄ることで、不離一体のサイクルをつくります。

- 各部会 1回ずつ年6回+幹事会主催の昼間例会1回、計7回の例会開催
- 支部会員参加率40%以上
- 毎回ゲスト10名参加

2. 小グループ活動の再興による活発な部会活動の展開

コロナ禍を経て、部会活動が弱くなっていると感じます。

今期はきりしま支部ならでは「小グループ活動」を再び盛り上げることで、6つの部会活動を活性化させ、きりしま支部全体をより一層盛り上げていきます。

(1) 経営指針の成文化と実践の推進

経営理念、10年ビジョン、経営方針、経営計画という4つを盛り込んだ経営指針を成文化することは、経営者の責任を果たす第一歩です。指針経営をする経営者を増やすことは、元気な地域づくりに繋がります。2022年度にスタートした「経営理念をつくる会」は2回の開催で20名が経営理念を成文化しました。この卒業生が、県の「経営指針をつくる会（方針・計画編）」に参加をし、指針経営の実践に取り組み始めています。

今年度も、この「経営理念をつくる会」を継続させ、学びの場づくりをします。

○経営指針部会を中心とした活動

- 経営指針をテーマとした例会づくり（年1回）
- 経営指針部会を中心に第3回「経営理念をつくる会」（3回連続講座）の企画・運営
- 県「経営指針委員会」との連携を図る

(2) 地域に若者を残す活動の推進「採用」と「定着」の共に育つ企業づくり

「人材不足」と言われる中、我々中小企業にとって、採用・教育・定着がより重要な経営課題となっています。

「21世紀型企業づくり」の基本の一つである「採用」と「育成」について、「地域の受け皿」として地域に若者を残していこうとする視点と経営者と社員が共に成長し合う「共育ち」について学びの場をつくります。

○共育ち部会を中心とした活動

- 共に育つ企業づくりをテーマにした例会づくり（年1回）

採用と共育を深める学習活動

都城西高校との連携の活動

地域づくり部会と連携しての「夢見る課外授業」への取り組み

県の共同求人委員会・共育ち委員会との連携を図る

(3) 発信力強化への取り組み

自社の情報を発信することで、顧客や働き手の獲得につながることはもちろん、社員の意識向上、経営方針の周知浸透など様々な効果が期待できます。部会では、情報を発信する意義について学びを深めると共に、紙、WEB、SNS等、様々な媒体を使った情報発信を同友会内で実践することで情報発信を強化する場をつくります。人の心を動かす魅力発信について学びます。

支部活動や会員企業情報など、魅力的・効果的に発信していき、会員増強、支部内の活性化、地域雇用に繋がることも目指します。

○魅力発信部会を中心とした活動

- 情報発信強化をテーマとした例会づくり（年1回）
- 宮崎同友会ホームページ上の「会員マップ」の充実を図ります。
- きりしま支部独自のInstagramを中心とした定期的な情報発信（支部活動・例会・会員企業情報）
- 県組織の広報戦略委員会と組織強化推進協議会との連携

(4) 産学官金および他団体との連携の強化

地域づくり部会が中心となり、三者協定会議、景況調査に基づく情報分析に取り組み、地域の経営環境の変化や課題を自社の経営課題としてとらえることができるような学びの場をつくります。

中学生へ講話する「夢見る課外授業」や起業家や起業予定者へ向けの「創業塾」のサポートを行い、地域を活動活力あるものにすると共に自社の経営に活かせる場づくりをします。

*三者協定とは、都城市、都城商工会議所、宮崎同友会の三者が「活力ある地域づくり」に取り組むために交わしている協定です。

○地域づくり部会を中心とした活動

- 地域づくりをテーマとした例会づくり（年1回）
- 三者協定会議への出席
- 創業塾へのサポート・共育ち部会と連携しての「夢見る課外授業」への参加

(5) 「中小企業振興基本条例」の制定による中小企業が元気に活躍するまちづくり

きりしま支部が10年かけて取り組みを進めてきた中小企業振興基本条例が、都城市で昨年度制定されました。三股町でも制定に向けた動きがスタートしています。地域を支える中小企業が行政、金融機関、学校、そして各地域団体を含めて多くの市民とともにどのような地域を描いてどのような活動をつくっていくのか、条例の制定及び制定後の活動を条例推進部会が中心となって進めていきます。

○条例部会を中心とした活動

中小企業振興基本条例をテーマにした例会づくり（年1回）

「中小企業振興基本条例」をもとに、他団体との連携を深めていく

景況調査を通じた企業づくり・地域づくりの推進

(6) 事業づくり

外部環境が大きく変化していく中、SWOT分析などを通して自社の事業領域を見直し、これからの自社のサービスをどのようにしていくのか、業界や地域における自社の立ち位置をどのように捉えるのか、これまで「逆風をもって『徳』とする」の旗を掲げて私達は経営改善に取り組んできました。

経営環境の大きな変化は今期においても続くため、過去の取り組み事例やコロナ禍における事業再構築についての事例報告等の交流により、未来を見据えることができる自社の存在意識・事業構築について学ぶ場をつくれます。

○事業づくり部会を中心とした活動

事業づくりをテーマとした例会づくり（年1回）

戦術・戦略・経営基礎につながる勉強会の実施

3. 経営課題に照らした部会活動の展開

きりしま支部はえびの市、小林市、高原町、都城市、三股町、曾於市の4市2町で構成されています。この地域には、約3000社の事業体があります。きりしま支部の現在の組織率は5.2%です。昨年度は24名の新入会があったものの、退会者も多く、10名増の165名という結果に終わりました。しかし、24名の新入会につながったのは、「ファイト200」というきりしま支部独自の会員増強の取り組みの成果によるものです。

今年度は2026年度200名会員達成へむけて支部会員数180名を目指します。Instagramの発信などでも「ファイト200」の取り組みをより強化していくとともに、会員同士のつながりを強める「会員訪問ふれあい活動」を展開していきます。

4. 中小企業・小規模企業振興基本条例の制定及び制定後の活動への積極的参加

都城市では、昨年4月「都城市中小企業・小規模企業振興基本条例」が制定されました。これは、約10年に及ぶきりしま支部の活動の成果が大きいと言えます。

きりしま支部では10年ほど前に条例制定を呼びかけながらも、具体的な制定の動きに至らず悔しい思いをした経緯がありました。それを踏まえ、きりしま支部では、都城市・都城商工会議所と三者協定を結び、「創業塾」や「夢見る課外授業」の活動を続けてきました。その活動を通じて信頼関係を構築してきたからこそ、今回の流れにつながったと言えます。

今年度はこの条例制定を受けて、産学官金が一体となって未来の地域づくりに向けた取り組みが始まります。三股町でも条例制定に向けた動きがスタートしました。ともに同友会事務局・きりしま支部会員が深くかかわっています。

同友会の目指す新しい地域づくりの輪をさらに広げていけるよう活動していきます。

MEMO

■活動計画

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
全 国		26-27日九州沖縄ブロック役員研修会	6日中小企業サミット(東京) 17-18日社員教育・共同求人全国交流会(北海道)	3 - 4日中同協第57回定時総会(神奈川)	28-29日中同協・経営労働問題全国交流会(茨城)	4 - 5日第28回女性経営者全国交流会(東京)	
県	第34回定時総会(4/25)	青年部会総会 5/13					
支 部 会	全体行事		20日第26回定時総会	小グループ会	7月例会 (7月29日)	8月例会 (8月25日) 同友会を知り合う会 & ピア	9月例会 (9月25日)
	幹 事 会	役員研修会 4/4 幹事会 4/14	5月9日	6月5日	7月1日	8月7日	9月2日
	経 営 指 針			小グループ会		10月例会準備①	10月例会準備②
	共 育 ち			小グループ会			
	魅 力 発 信			小グループ会 8月例会準備①	8月例会準備②	例会グループ長会議 例会担当	
	事業づくり			小グループ会			12月例会準備①
	地域づくり		7月例会準備①	小グループ会 7月例会準備②	例会準備&グループ長 会議 例会担当		
	条 例 推 進			小グループ会	9月例会準備①	9月例会準備②	例会準備&グループ長 会議 例会担当
	ファイト200担当			幹事会	地域づくり	魅力発信	条例推進
	3者協定活動	3者協定会議	3者協定会議	6/14創業塾キックオフ	都城西高校職業講話 7月17日(木)	8/23創業塾グループ ワーク	
条 例 推 進		都城市推進協議会 三股町検討委員会					
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
全 国	9-10日中同協障がい者問題全国交流会(青森)	20-21日第53回青年経営者全国交流会(香川)				5-6日中小企業問題全国経営研究集会(岩手)	
県		11/7第34回みやざき中小企業経営フォーラム		新春経営者交流会			
支 部 会	全体行事	10月例会 (10月24日)		12月例会 (12月9日) 同友会を知り合う会 & 望年会		2月例会 (2月9日)	同友会を知り合う会
	幹事会	10月2日	11月5日	12月4日	1月8日	2月5日	3月3日
	経 営 指 針	例会準備&グループ長 会議 例会担当				第4期経営理念をつくる会 第1講 1/17 第2講 2/7 第3講 3/7-8	
	共 育 ち		2月例会準備①	2月例会準備②	例会準備&グループ長 議 議	例会担当	
	魅 力 発 信						
	事業づくり	12月例会準備②	例会準備&グループ長 議 議	例会担当			
	地域づくり						
	条 例 推 進						
	ファイト200担当	経営指針	事業づくり	幹事会	共育ち	幹事会	幹事会
	3者協定活動	夢見る課外授業					
条 例 推 進							

2025年度（第26期）きりしま支部幹事名簿

■ 代表幹事 ■

株式会社都城印刷	代表取締役	田中 賢一
株式会社ハラケアシシステム	代表取締役	原 秀直
株式会社ハピネス	代表取締役	丸山 将史
ダブルハウス株式会社	代表取締役	渡会 真也

□ 経営指針部会担当 □

株式会社スカイウォーカー	代表取締役	大工 龍也
Relaluvo	代表	津曲 智子
有限会社九州エネルギー	代表取締役	長倉 努

□ 共育ち部会担当 □

株式会社栄進電工	代表取締役	鎌田 直樹
社会保険労務士・行政書士ひがし事務所	代表	東 信一郎
バルシュフラワー	代表	前田 和範

□ 地域づくり部会担当 □

株式会社 I S T S T Y L E	代表取締役	佐藤 輝和
株式会社文昌堂	代表取締役	東 淑恵
株式会社 INDIGO WORKS	代表取締役	福留 康太

□ 事業づくり部会担当 □

ルキア合同会社 LAMP of hair	代表社員	今別府真希
株式会社木和工芸	代表取締役	木上 和成
スナック 翡翠 合同会社絆	代表	中村 麻里

□ 魅力発信部会担当 □

株式会社ヤマトボーデン	代表取締役	内倉 信一
合同会社花菜	代表	村山 美佳
株式会社ブルースター都城支社	取締役	山能 久直

□ 条例推進部会担当 □

合同会社 IWC (あおぞら整骨院)	代表社員	岩津 良
有限会社スワイン清藤	代表取締役	清藤 智行
優企画株式会社	代表取締役	高濱 優子

MEMO

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

MEMO

Horizontal dotted lines for writing.